

令和5年度 看護力向上支援事業報告 ～糖尿病看護認定看護師の支援を受けて～



医療法人 相馬中央病院
檜山 久美子
2023年12月13日

<現状>

糖尿病教育入院に関して

- ① 個別看護の不足
- ② 多職種での介入・連携が不足
- ③ 高齢者、認知症患者への指導方法がわからない

<目標>

- ① 糖尿病治療・合併症予防についての知識・
技術の習得ができる
- ② 多職種での関わり・継続的な看護の実践が
できる糖尿病教育入院パスの構築

支援の内容

①当院における 職員全体研修の実施



第1回

「あなたも今すぐ糖尿病看護の達人になれる！」

第2回

「知らなきゃ損する糖尿病のはなし」

第3回

「高齢者の糖尿病の特徴と目標値」

第4回

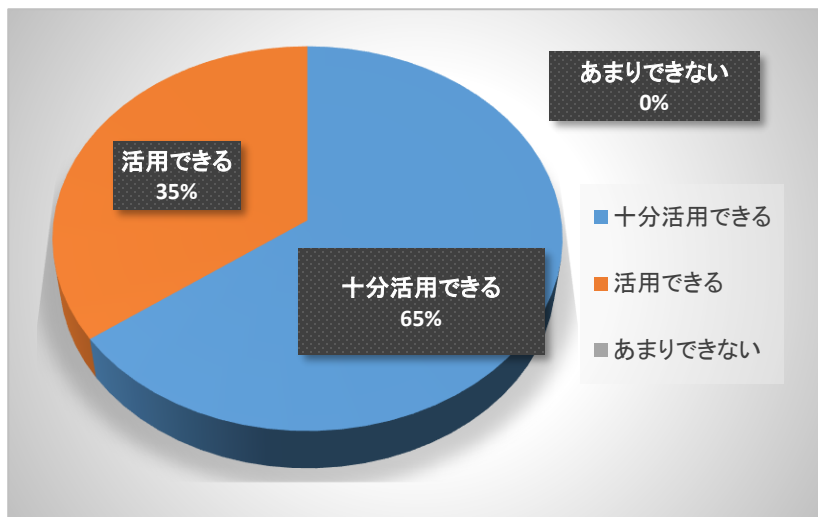
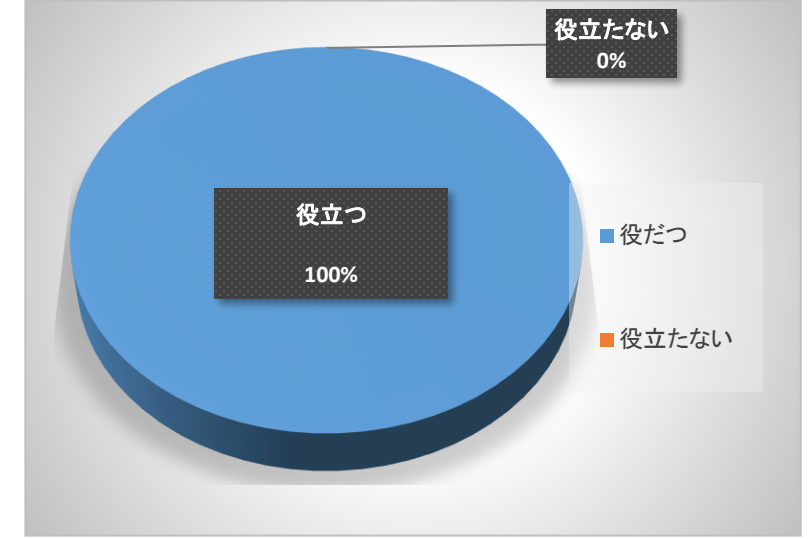
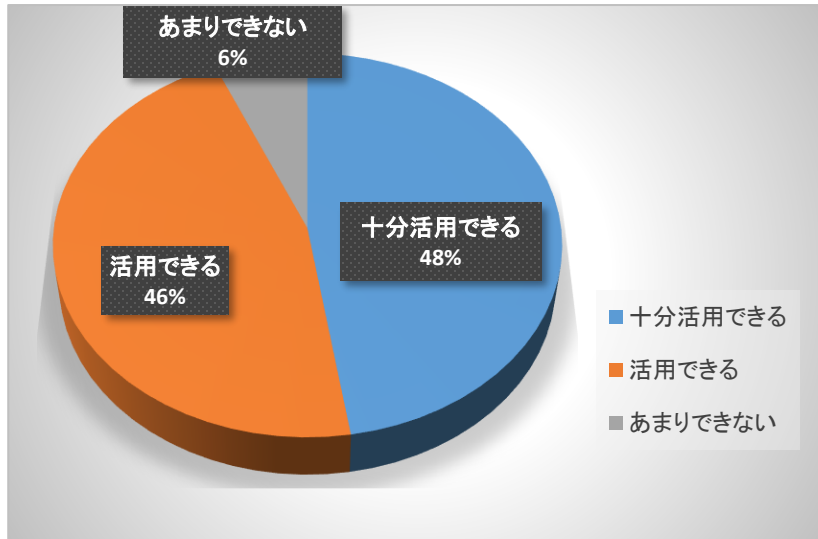
「意外とおもしろい！糖尿病治療の最前線」

第5回

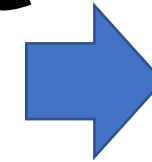
「糖尿病フットケア」

< 今後の業務への活用 >

< 今後の業務に役立つ >



**インスリン注射の恐怖体験で
患者の気持ちになれた
患者の恐怖に共感できる
今では違った寄り添いができる**



行動変容



プラスα得られたこと

- 「糖尿病フリー教室」の開催
看護部長、外来看護師、管理栄養士
薬剤師、理学療法士など
* 患者アンケートから教育入院の
指導内容を決定
- 糖尿病友の会「はまなす会」再開
看護師、管理栄養士
臨床検査技師など
- 多職種間の業務に関する相互理解
- 当院の組織力強化

<目指すしくみ作り>

～地域に密着し地域の多様なニーズに応える～

外来「糖尿病フリー教室」
患者の不安、困りごとを看護師が聞き取り、管理栄養士、薬剤師、理学療法士が対応

病棟：糖尿病教育入院

パスを使用し

- ・看護師：問題点の共有
- ・管理栄養士：栄養指導
- ・薬剤師：薬剤・インスリン導入指導
シックデイ、低血糖時の対応
- ・理学療法士：運動療法
- ・臨床検査技師：血糖測定方法
HbA1c、蛋白尿について

糖尿病友の会「はまなす会」

- ・正しい知識の共有・情報交換
- ・患者から医療側への要望、提案
- ・仲間との交流を通し自己管理のコツや食事の工夫等を学ぶ

- ・眼科への紹介：「糖尿病網膜症の早期発見・治療」
- ・歯科への紹介：「口腔ケア」
「歯周病とHbA1cについての指導」



透析室
フットケア

< 今後の課題と 支援内容を継続していくために >

- ・教育入院パスを使用し、必要な支援が提供できる**
- ・電子カルテでのパス運用**
- ・教育入院時、眼科、歯科へ紹介するしくみづくり**



**多職種とのコミュニケーションを密にし
協力体制が取りやすい関係づくり**